

学術創成研究費
「記号過程を内包した動的適応システムの設計論」
平成 20 年度 研究成果発表会

開催日時：平成 21 年 3 月 19 日（木） 9：30～17：00
開催場所：芝蘭会館別館 2F 研修室 2（下記地図参照）



プログラム

*9：30～10：00 プロジェクトの概要 研究代表者 榎木 哲夫

環境適応ロボットの記号過程 G 成果発表

1. 10：00～10：10 グループ総括 土屋和雄教授
2. 10：10～10：25 動作認識のための特異スペクトル変換による力学的相互作用の抽出
榎木研究室 櫻井啓智
3. 10：25～10：40 特異値分解を用いた動作における個人間の類似と差異の抽出
中西弘明講師
4. 10：40～10：55 ヒトの歩行における運動シナジー 船戸徹郎
5. 10：55～11：10 人間からロボットへの折り紙動作の伝達 横小路研究室 木原康之
6. 11：10～11：25 2脚歩行ロボットの4脚歩行から2脚歩行への歩行遷移 青井伸也助教
7. 11：25～11：40 まとめ 土屋和雄教授

〈昼 食〉 11：40～12：50（70min.）

適応環境の記号過程 G 成果発表

8. 12：50～13：00 適応環境の記号過程 G の研究概要 門内輝行教授
9. 13：00～13：25 生産活動の記号過程 水山 元講師
 - ・組立セル改善活動における組織的知識創造プロセスの分析
 - ・中華鍋の操作を対象とした技能動作習得過程に関する基礎的研究
10. 13：25～13：50 ヒューマンマシンインタフェースの記号過程 堀口由貴男助教
 - ・情報香モデルに基づく機能探索過程における錯誤の分析
11. 13：50～14：25 適応環境における人間行動と設計プロセスの記号過程 門内輝行教授
 - ・街並み景観の記号のネットワークの記述と関係性のデザインの解説
 - ・京都・鴨川の水辺空間における人間-環境系の記号過程に関する研究
 - ・設計プロセスにおけるアブダクションに関する記号論的研究
 - ・関係性の視点からみた人間-環境系のデザイン
12. 14：25～14：30 総合討論

〈休 憩〉 14：30～14：50（20min.）

動的環境認知の記号過程 G 成果発表

13. 14:50~14:58 グループ研究概要説明 富田直秀教授
14. 14:58~14:21 反応拡散モデルを用いた生体環境設計の試み
富田研究室 大高晋之
15. 15:21~15:44 神経ネットワークのダイナミカルな記号生成
情報学専攻 青柳富誌生講師
16. 15:44~16:07 RNN を用いた 2 体ロボット間のマルチモーダルインタラクションにおける共有サインの創発
情報学専攻 尾形哲也准教授
17. 16:07~16:30 役割反転に基づく連続的相互作用からの模倣学習と行為認識
立命館大学情報理工学部 谷口忠大助教
18. 16:30~17:00 総合討論
- 18:00~ 懇親会 La Tour (京都大学時計台記念館 1F)

【芝蘭会館別館アクセス】

